



県議会議員
自民党兵庫

中野ゆうご

ひょうご県政 NEWS レポート

2023年 新春号

発行者 中野 郁吾

〒662-0084 西宮市樋之池町2番15号
スクエア樋之池1201号室

TEL 0798-81-5152 080-9161-1091 FAX 0798-81-5029

躍動する兵庫をともに

新しい改革の風を県政に!

令和5年が幕を開けました。コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵略等による不安定な世界情勢、エネルギー価格や物価高騰など厳しい局面が続いていますが、しっかりと地域に根を張って難局に立ち向かい、未来への道筋を示す県議会議員としての使命を果たす決意です。

激動の時代を切りひらくため、不退転の決意を誓い合った自民党兵庫議員団の仲間と共に県政改革に取り組んできました。そして、齋藤新県政がスタートして1年半、兵庫県には新しい改革の風が吹き始めています。「成長の種」ともいえる

新しいプロジェクトが県内各地でスタートし、西宮市では大阪湾ベイエリアの活性化やスタートアップ支援の拠点とするプロジェクト等が動き始めています。

今年1年も県政の両輪である県議会の与党会派の一員として、齋藤知事と議論を積み重ねながら、地域課題の解決、時代潮流をとらえた政策を実行し、県民の皆さんとの対話、そして現場主義に徹して、県政をさらに前に進めて参ります。成長が実感できる新しい改革の風を吹かせ、「躍動する兵庫・西宮」の実現に果敢に挑む覚悟です。倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



齋藤知事と共に新県政を前に進めます



大阪湾ベイエリアに人を呼び込む新たなプロジェクトを推進。写真は新西宮ヨットハーバーに停泊したラグジュアリーヨット



令和5年度当初予算編成に対する申し入れを知事にを行いました



令和5年度当初予算の編成状況などについて県各部署から説明を受けました



監査委員4人の1人として、齋藤知事に決算審査意見書を手交



第360回12月定例県議会一般質問に登壇

質問の概要は2面に掲載しています

監査委員の重責を担って 県政運営の公正な執行を審査

昨年6月の定例議会において議会選出の監査委員に選任されました。

監査委員は、県政運営が公正で合理的かつ効率的に執行されているか、審査を行う重責を担っています。想像以上の激務で、本庁はもちろん、県内各地の地方機関などの現場に出向き、県政を議会審議とは違った別の角度からチェックしています。

9月には兵庫県歳入歳出決算審査意見書等を齋藤知事に提出しました。中では経理事務の誤りにより、総額で1億円を超える収入漏れ等があり、それらの指摘と同様の事務処理の誤りが生じないように改善を求めました。また、昨年度から始まった内部管理制度の実効性確保へ着実な制度運用を求めました。

中野ゆうご県政報告会を開催

「躍動する兵庫に」テーマに齋藤知事が講演



12月11日、西宮市内にて「中野ゆうご県政報告会」を開催させていただきました。多くの方々にご来場いただき、ありがとうございます。私が県政報告＝写真上＝をさせていただいた後に、齋藤知事が「躍動する兵庫に」と題して講演され、「新たな成長の種をまく」「地域の価値を高める」「安全安心の網を広げる」の3つの視点で県の施策を説明されました。齋藤知事の西宮市での講演は初めてになります。2025年の大阪・関西万博に向けた大阪湾ベイエリアの活性化による地域経済の発展、交流人口の拡大、そのために西宮市の果たす役割や可能性などを分かりやすく説明していただきました。

「躍動する兵庫」の実現に向け、ご来場いただいた方々ともども一丸となって取り組むことを確認することができました。

第360回令和4年12月定例議会・一般質問に登壇

県内企業のESG(環境、社会、企業統治)経営に向けた支援

中野 今後、企業が成長していくためには、SDGsに加えてESGの考え方の理解促進も不可欠。県内企業のESG経営の取組に支援を。

産業労働部長 来年度から実施予定のSDGs認証事業では30の評価項目を設けており、この認証を目指す取組が企業の構造を変え、結果として**ESG経営につながるよう丁寧にサポート**する。これらの取組を通じて、本県経済の持続的発展につなげたい。

ソーシャルビジネスへの支援・連携

中野 社会問題解決のためにソーシャルビジネスに取り組む起業家の育成支援、また、起業家に社会課題を共有する仕組みづくりと連携が必要。

知事 社会課題を解決するソーシャルビジネスの起業家を育成するシステムづくりは大事。その中で**地域の困り事を最新のテクノロジー等とマッチングし、解決するモデル事例をつくりたい**。更なるスタートアップ支援を行う。

Topic1 新たな価値を生む経済の構築

齋藤県政では中小企業のDX人材の育成や成長力強化を支援するとともに、スタートアップが有する技術を地域課題とマッチングする「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」の展開、若者を対象とした「ひょうごスタートアップアカデミー」の開設をはじめ、産学官が連携する「ひょうご水素社会推進会議」を設置し、水素の利活用方策などを検討しています。

2025年の万博、2030年の神戸空港の国際化など、本県経済にとってはチャンスが続くことから、次世代産業のさらなる育成など、国内外から人・モノ・投資を呼び込み、未来へのイノベーションの加速化、地域産業、雇用の活性化を目指します。



兵庫県で開催された第1回ドローンサミット



ブルーカーボンの取組み

中野 陸上の森林等によって炭素を吸収するグリーンカーボンに加え、海洋生態系が吸収するブルーカーボンの大きな役割に期待が寄せられている。藻場の再生等この取組を産学官民が連携して加速させていくべき。

知事 産学官民連携による連絡会議を設置して進める。企業から投資を受けるブルーカーボンのクレジットがノリ養殖などで確立できれば、**豊かな海づくりの活動に県内外から外部資金が兵庫に集まり、消費拡大にもつながる**。SDGsの取組やブランド化につなげていくため、しっかり行っていく。

武庫川の下流部築堤区間における人と自然の川づくり

中野 武庫川の安全度を高めるだけでなく、河川改修整備後も人の憩いの場、水や自然と触れ合う場、多様な生物が生活する場として、魅力を高めるため、人と自然の川づくりをどのように進めていくのか？

土木部長 治水工事に併せて景観の保全、環境の再生を行う。クロマツの伐採は最小限にとどめ、環境学習等に対応する**海岸タイプの護岸を配置**。潮止め堰を川底の掘り下げに伴い撤去することで干潟が再生され、**多種多様な生物種が宿る武庫川本来の自然環境が戻ってくる**と期待している。



武庫川では、アユをシンボル・フィッシュに河川整備や環境改善に取り組んでいます

Topic2 全国豊かな海づくり大会を開催

11月12、13日、「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」が開催されました。昭和56年から毎年各地で開催されている国民的行事です。13日、明石市で開かれた式典行事、海上歓迎・放流行事には私も出席させていただきました。豊かな海の創出に取り組む地域の姿を全国にアピールし、その活動の輪の拡大、そして水産業の一層の発展に力強く取り組むことを誓い合いました。

本県の漁業産出額は、523億円(H30年)で全国8位に位置し、生産量では近畿6府県の約7割を占め、京阪神等へ水産物を供給する重要な基地となっています。大会の成果を生かし漁業振興に取り組みます。



市町の中小企業勤労者福祉共済 ひょうごファミリーパックへの移行

中野 ひょうごファミリーパックは、中小企業・小規模事業者が大企業並みの福利厚生制度を提供するサービスで、県内11市町でも同様の事業が行われ、統合することで、よりスケールメリットを生かした事業を展開できると提案したところ、**西宮市は独自の事業を廃止し、ファミリーパック等への移行を始めている**。廃止により**毎年5,000万円の財源が削減された**という。更に統合、連携させることにより、スケールメリットの拡大、市町の財政負担も軽減できる。

産業労働部長 サービスの連携や統合について継続して働きかけを行うとともに、持続可能な共済制度の在り方について、中長期的な視点に立って検討する。

高校での金融教育について

中野 2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられ、クレジットカードやローン等の契約が18歳から可能になり、若者の消費者被害の拡大が懸念されている。将来を担う若者が豊かな生活を送るためにも有効性のある金融教育を学校の現場で行うべき。

教育長 各種金融機関等との連携を深め、教員の知識の向上と**高校生が金融を学べる機会を充実**させていく。